

# たかお治久 はる ひさ 後援会 会報 No.18

■発行日／平成28年2月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

いつも大変お世話になっております。高砂市議会議員のたかお治久です。  
現在私は、議会内では総務常任委員会委員長を仰せつかり、また会派代表として活動をさせて頂いておりますが、全国の自治体が抱える課題、即ち人口減少時代のあり方については、本当に難しい局面にきていると感じています。

市政60年が経過した高砂市はあらゆる公共施設が老朽化をむかえる一方、本年2月には新図書館が米田町に開館、4月には旧生石宿泊センターを改築し、移転後の教育センターが開館する等、いくつかの施設がリニューアルをむかえ、残すは高砂市役所庁舎をどうするかが大きな課題となっています。

この様な状況の中、我が会派として高砂市の行政に対し何を要望し、また現在の自分の活動をどのようにして知って頂こうとしているか等について今回の会報で、ご報告をさせて頂きたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 1. 市役所庁舎の今後

### 老朽化した市役所庁舎をどうすべきか？

《建替え、移転案》

案①～④	現地建替え		移転建替え	
	案①	案②	案③	案④
候補場所	現在の場所	高砂駅南	明姫幹線南	総合運動公園内
概算整備費	約58億円	約160億円	約80億円	約96億円
総事業期間	5年11ヶ月	8年11ヶ月	9年1ヶ月	10年7ヶ月
(内 庁舎整備)	(5年11ヶ月)	(3年11ヶ月)	(4年1ヶ月)	(4年7ヶ月)
(内 用地取得)	—	(5年)	(5年)	(6年)

築約60年が経過した現在の市役所庁舎は耐震性にも問題を抱え、早急な対応が必要なことは間違いありませんが、人口減少社会を迎えた現代において高砂市の将来を視野に入れた上で、コストや利便性、立地条件等を複合的に考えていく必要があります、本当に難しい課題となっています。

私自身も結論を出せておらず、市民にとって最適な案は何なのか、模索中です。



## 2. 平成28年度予算にむけた明風会 会派要望

現在、私は島津明香議員、石崎徹議員と3名で会派（明風会）を組み、代表として活動させて頂いています。議会では毎年、翌年度の行政当局の予算立案に先立ち、会派毎に行政に会派要望を出す仕組みがあります。ただ、この要望がどれ程聞き入れられ、予算（案）にどう反映されるかは行政（特に市長）の考え方や全体最適、財政バランス等々が影響し、予想が付き難いのが実情です。

我が会派として平成28年度以降に向けた会派要望として以下（要約）を提出しており、ご報告致します。  
（前文 要約）

現在高砂市が様々な課題を抱え財政的に余裕がないことを勘案し、資源（人、物、財源、時間等）の選択と集中を行った上で、各事業を加速的に進めていくことを先ず求めたい。その上で前提となるのが総合計画の後期見直し\*<sup>1)</sup>であり、それに沿って作成が必要と考えるのが「より鮮明にした高砂市の将来像（ビジョン）」ではないかと考える。平成28年度末には『公共施設等総合管理計画』\*<sup>2)</sup>が完成することになっているがその完成を待ち、その後予想される進捗度では遅いのではないかと考える。例えば高砂市総合運動公園を今後どうしていくのか？これは高砂市の文化スポーツの将来ビジョンの中にどう位置付けられるかにより、当然投入予算が変わってくるし、連携中枢拠点都市圏構想\*<sup>3)</sup>等広域的な視点での行政運営を勘案すれば手法も様々になってくると考える。

この様に分野毎での長期ビジョンを明確にし、犠牲にせざるを得ない物は明確なビジョンと財政状況を市民に説明することを前提に選択と集中を行った上で各事業を加速的に進めて頂くことを強く要望する。

さてその一方で、現在所有する施設はその価値を高めるべくミニマムコストの中でより丁寧に公共施設を維持管理し市民満足度を高めることもまた今最も真剣に取り組むべき課題として当会派では位置付けている。

人口減少社会、地方創生の中、高砂市に出来ることは何か、当会派として検討し、以下の通り要望する。

### 言葉の解説

\* 1) 『総合計画』とは高砂市の最上位計画であり10年単位で作成、5年で見直しを行い『後期見直し』とする。

\* 2) 日本中で課題となっている公共施設の老朽化問題に対し総務省が各自治体に施設をどの様に維持管理していくのか具体的に作成を求めた計画。

\* 3) 人口減少社会、少子高齢化を見据えた今後の自治体運営の為に高砂市の場合は姫路市を軸に周辺市町8市8町と連携するという広域的行政運営。

### 全庁的 取組み

#### ● 高砂総合運動公園のあり方検討

スポーツ環境の将来像（ビジョン）を明確にし高砂総合運動公園の位置付けを明確にすべき。

#### ● 施設の維持管理

施設の維持管理の充実に向けた仕組みを変え、例えば「公園遊具の撤去・更新について」や「公園除草」等は、まちづくり部だけではなく、健康文化部・福祉部・教育部・財務部が交えて検討する場（委員会）が必要。運営状況の評価については、市民を交えての公共施設の定期的な評価を実施する仕組みの導入を実施すべき。

#### ● 教育センター跡地の活用

何も造らないことも候補に本当に必要な物を厳選し施設の削減・統廃合を視野に入れた検討をすべき。

#### ● 空き教室

その有無は教育部からの意見を優先するのではなく全庁的な観点から判断すべき。

#### ● よりメリハリのついた人事・給与制度の研究をすべき。

#### ● イベント広報

「るるぶ」や「はりまるしえ」等のサイトにある「イベント情報カレンダー」には産業振興課以外の事業も掲載依頼すべき。（例）、ため池フェスティバルや市民音楽祭等の文化事業等

#### ● ブライダル都市のリメイク

結婚を希望する若い世代が集まりやすいようなイメージ転換を期待したい。

### 企画 総務部



## 財務部

### ● 財政状況の見える化

自治体によっては財政状況を市民によりご理解頂く為にグラフを活用した資料（冊子）を作成している所もある。

このような形で財政状況をご理解頂く = “見える化” が必要ではないか？

### ● 開発指導許可権限の取得

### ● 公園及び街路樹の管理

適切に公園管理できていない再委託先は指導や変更をすべき。

市民の窓口となる公園管理責任者をその公園に掲示し責任を明確にすべき。

街路樹の剪定や除草は景観維持地区を定め、計画的に実施してはどうか。

### ● 道路整備

穴ができるたびにその部分のみの対応をしているのが現状。全体を計画的に整備すべき。また道路交通法の改正や自転車事故に対する意識の高まりを受け、歩道や自転車道の整備が必要である。

### ● バス交通の充実

ルート変更、時刻表の明瞭化等が実施されるが、よりニーズにあった運営を目指して頂きたい。

### ● 生石神社との連携による同神社の観光名所化とそれに見合った周辺整備

### ● 宝殿駅南整備事業

当面の対策として高砂主導で空地进行を駐輪場とアスファルト化と線引きを実施すべき。（既に長期間が経過しており、後回しをすべきではない課題）

### ● 高御位のルート整備

他市からも多くのハイカーがやって来ている。山頂からの眺望は高砂市を一望でき絶景。登山口の整備、駅前や市ノ池公園での案内板の設置、マップの作成、広報の充実等、更に取り組むべき。

## まちづくり部

## 健康文化部

### ● 不妊治療の助成

県の助成に加え厚く支援することで「この街に住もう」と思える高砂市になると考える。

### ● 男女共同参画事業の見直し

事業の目的を明確にし、本当に必要な人に届く企画・事業運営をすべき。

### ● 総合運動公園体育館のトレーニングルーム

周辺自治体と比較した料金・内容の有り方の再検討を。

### ● 保育時間

早朝（午前7時からなど）の延長保育や休日保育など、保育時間の拡充の検討を。

## 福祉部

## 教育部

### ● 教育施設老朽化対策

米田西小学校では体育館の屋根が雨漏れした。同様の課題や他の教育施設の充実度でも他市に劣っている部分は無いのか？総合的に解決するには「公共施設等総合管理計画」の加速的実施が必要と考えるが、雨漏れ等は早急な対処が必要である。

### ● 校庭芝生化の推進

### ● 副担任制度の導入

現在教育現場では授業中に長く座って授業を受けることが出来ない児童が増加し、担任1人で対応できない状況ときく。学力低下を解消するためにも必要な範囲で副担任の配置をすべき。

### ● 子ども議会

60周年で開催した子ども議会を毎年開催すればどうか。子ども目線の意見を持っているし、市政に興味を持ってもらう良い機会と考える。

### 3. 日々の活動「是非ブログをご覧ください」

最近、身近な方や面識のない方等から相談される機会が少しずつ増えてきています。市議会議員として仕事をさせて頂いている者として、ご相談をお受けし、より良い方向に向かうことは非常に遣り甲斐のあることです。

例えば、「カーブミラーの設置」や「公園管理のあり方」、「土地の公私境界線の相談」や「障がい者施策」等々、自分では気が付かなかった視点でのご要望もあります。

このような事を行政に働きかけることで、**世の中を安全で住みよい形に変えていくことは本当に嬉しいこと**です。



多くの皆様にとって「市役所」という所は大変“敷居の高い”場所であり、意見や要望を伝え交渉を行うのは多大なエネルギーを要するものと思います。しかし、皆様が抱える課題の中には行政の手を借りれば上手く進むことが多々あり、その時には大いに私（たかお治久）を活用して頂きたいと考えています。

皆様のご相談をお受けすることで、自分自身が初めて知る現場のことも多く、そのことを通じて成長させて頂き、より皆様のお役に立てる能力を養い、日々を過ごしたいと考えております。是非とも遠慮なくご連絡ください。よろしくお願いたします。

また、皆様からのご要望への対応や日々の活動を知って頂く為に、今後も以下の活動を継続していきたいと考えています。

1. 『たかお治久後援会会報』（年4回発行）
2. 市政報告会（個人として1回/年、会派として2回/年）
3. **インターネット（ブログ）による活動報告 6回/週**



ブログへアクセス！

是非皆様にも耳（目）を傾けて頂きたく、本年もよろしくお願いたします。  
尚、次回予定している会派報告会を以下の通りご案内させて頂きたく、是非ともご参集頂きたく、よろしくお願いたします。



## 明風会 会派活動報告会

日時：平成28年5月15日(日) 18時半～20時半

場所：高砂市ユーアイ帆っとセンター

(★場所が変更になる場合がありますので、必ず上記ブログにてご確認ください)

<鷹尾治久後援会役員>

会長：渡邊登 副会長：北野光昭 松谷敏道 荒田修 西本裕行 幹事：吉田淳二 会計：谷村 英雄 監査：和住真宏

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所／TEL.079-445-2395 (カネカ労働組合高砂支部内)